

栗原、落合選手が区間賞 男子6位、女子は敢闘賞

No.1 郡市対抗熊日駅伝・女子駅伝



区間賞を獲得し、チームの躍進賞受賞の原動力となった栗原選手



二人抜き快走で区間賞を獲得した落合選手

第36回熊日郡市対抗女子駅伝は1月27日、熊本市のびぶれす熊日会館前を発売点とする7区間28.4kmのコースであり、県内各郡市から19チームが出場しました。球磨郡(大林龍一監督)は1区(2.9km)中学1年生区間に深水帆乃華選手(湯前中1年)瀬戸口、5区(5.5km)に栗原泉選手(千原台高2年)上染田)が登場。栗原選手の区間賞の活躍などで、球磨郡は昨年13位から順位2つ上げ、11位でゴールし、敢闘賞を獲得しました。11位でたすきを受けた栗原選手は16分2秒のタイムで3人抜きを達成。候補選手として、浜崎郁乃選手(人吉高2年)上里3)、永瀨香琳選手(湯前中2年)浜川)も選ばれ、サポート役として選手を支えました。

日会館前をゴールとする14区間106.5kmのコースで開かれ、県内各郡市から19チームが出場。球磨郡(前田洋監督)は5時間37分30秒で6位となりました。本町からは落合諒選手(湯前中2年)中猪)が5区(3.7km)中学2年生区間で区間賞を記録。11分36秒でたすきをつなぎ、チームに貢献しました。山崎隼汰選手(球磨工業3年)上村)と福屋渉選手(湯前中3年)瀬戸口)も候補選手に選出されました。球磨郡は1区18位から徐々にギアを上げ、4区終了時点で10位。落合選手が二人を抜き、チームは8位に浮上。最終14区の選手が区間賞を受賞する走りを見せ、チームは6位になりました。トップの熊本市との差は5分48秒でした。

のぼりの旗を持って応援



1区を力走する深水選手

- 〈男子総合成績〉**
- ①熊本市 5時間31分42秒
 - ②菊池郡市 5時間35分06秒
 - ③八代市 5時間36分54秒
 - ④球磨郡 5時間37分30秒
- 〈個人成績〉 ※本町関係**
- ▽5区(3.7km)中学2年)落合 諒 11分36秒(8)(1)
- 〈女子総合成績〉**
- ①熊本市 1時間35分55秒
 - ②山鹿市 1時間37分32秒
 - ③玉名郡 1時間37分38秒
 - ④球磨郡 1時間41分29秒
- ※敢闘賞

- 〈個人成績〉 ※本町関係**
- (通過順位) [区間順位]
- ▽1区(2.9km)中学1年)深水 帆乃華 10分56秒(17)(17)
 - ▽5区(5.0km)栗原 泉 16分02秒(8)(1)



受賞を喜ぶ本町担当者(中央)と人吉市の担当者

特集や写真を評価

No.2 広報湯前、コンクールで6年連続特選

第62回熊本県広報コンクールの最終審査が1月18日に熊本市の熊本日日新聞本社で行われ、本町が発行する「広報湯前」が広報紙・町村の部で1位となる特選を6年連続で受賞し、一枚写真の部でも3位の佳作を受賞しました。

コンクールは市町村広報紙のレベルアップを目的に毎年開催され、熊本県広報協会、熊日新聞社が主催。県内の市町村から広報紙の部に24点、広報写真・組み写真の部に88点の応募がありました。

本町は広報紙の部に平成30年9～11月号、一枚写真の部には湯前小学校5年生のどろんこ遊びを撮影した同7月号の表紙「田んぼって楽しい」を提出。紙面は審査員から「地域に焦点を当てた特集は読みごたえがある、読みたくなる」「人物の顔がよく、写真が素晴らしい、カメラマンの情熱、思い入れを感じる」などと評価されました。

11月号はことし5月に行われる全国広報コンクールに熊本県代表として出品されます。

- 〈審査結果〉**
- 広報紙・町村部**
- ▶特選 広報湯前(湯前町)
 - ▶入選 広報たかもり(高森町)
 - ▶佳作 広報おおづ(大津町) 広報ましき(益城町)
- 同・市部**
- ▶特選 広報きくち(菊池市)
 - ▶入選 広報うき(宇城市)
 - ▶佳作 広報ひとよし(人吉市)ほか1作品

- 広報写真・一枚写真の部**
- ▶特選 郡浦の天神樟(宇城市)
 - ▶入選 しゅっぱーつ、しんこーお!(高森町)
 - ▶佳作 田んぼって楽しい(湯前町) 日本百名城人吉お城まつり(人吉市) ほか2作品

- 同・組み写真の部**
- ▶特選 八朔祭(山都町)
 - ▶入選 おくんち祭(人吉)ほか1作品



生き生きとした町民の様子が評価された広報湯前